

香川県の地震

令和7年（2025年）1月

香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・	1
地震概況	・・・	2
香川県の地震表（震度1以上）	・・・	2
震度分布図	・・・	3

南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果

（令和7年（2025年）2月7日）

・・・ 4

地震一口メモ

液状化現象について	・・・	5～7
-----------	-----	-----

この資料の震源リスト・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

2025 年 1 月

Figure 1 consists of three panels (A, B, C) showing the distribution of earthquakes in the Kanto region. Panel A is a map view showing the distribution of earthquakes in the Kanto region, with a scale bar of 50km. Panel B is a cross-section view along the B-C line, showing the distribution of earthquakes in the Kanto region, with a scale bar of 50km. Panel C is a cross-section view along the A-C line, showing the distribution of earthquakes in the Kanto region, with a scale bar of 50km. The figure includes a legend for magnitude (M) and depth (depth in km).

Legend for Panel A:

- Magnitude (M): 0.5, 1.0, 2.0, 3.0, 4.0, 5.0, 6.0, 7.0, 8.0, 9.0
- Depth (km): 0, 20, 40, 60, 80, 150

Legend for Panel B and C:

- Depth (km): 0, 50, 100, 150

Figure 1 shows the distribution of earthquakes in the Kanto region. Panel A is a map view showing the distribution of earthquakes in the Kanto region, with a scale bar of 50km. Panel B is a cross-section view along the B-C line, showing the distribution of earthquakes in the Kanto region, with a scale bar of 50km. Panel C is a cross-section view along the A-C line, showing the distribution of earthquakes in the Kanto region, with a scale bar of 50km. The figure includes a legend for magnitude (M) and depth (depth in km).

- 1 -

◎地震概況

香川県で震度1以上を観測した地震は、次の1回でした（前月は4回）。

13日21時19分 日向灘の地震（深さ36km、M6.6；震央分布図地図範囲外）により、高松市・土庄町・坂出市・観音寺市・琴平町・多度津町・三豊市・まんのう町で震度2を観測したほか、東かがわ市・さぬき市・丸亀市・綾川町で震度1を観測しました。この地震では、宮崎県高鍋町・新富町・宮崎市で震度5弱を観測したほか、東海・甲信越・北陸・近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度4～1を観測しました。

四国で震度1以上を観測した地震は、前述の他に次の9回でした。

1日08時51分 日向灘の地震（深さ32km、M4.0）により、愛媛県愛南町、高知県宿毛市で震度1を観測しました。この地震では、大分県佐伯市で震度2を観測したほか、大分県、宮崎県で震度1を観測しました。

6日18時22分 日向灘の地震（深さ30km、M4.5）により、愛媛県愛南町、高知県宿毛市で震度2を観測したほか、愛媛県宇和島市・八幡浜市・伊方町・西予市、高知県黒潮町で震度1を観測しました。この地震では、大分県佐伯市で震度3を観測したほか、中国・九州地方で震度2～1を観測しました。

14日01時14分 日向灘の地震（深さ28km、M5.0；震央分布図地図範囲外）により、愛媛県宇和島市・伊方町、高知県宿毛市で震度1を観測しました。この地震では、熊本県産山村、宮崎県高千穂町・美郷町で震度3を観測したほか、中国・九州地方で震度2～1を観測しました。

14日01時56分 豊後水道の地震（深さ46km、M3.0）により、愛媛県宇和島市で震度1を観測しました。

15日02時12分 日向灘の地震（深さ29km、M5.4；震央分布図地図範囲外）により、愛媛県宇和島市、高知県宿毛市で震度1を観測しました。この地震では、宮崎県宮崎市で震度4を観測したほか、中国・九州地方で震度3～1を観測しました。

17日20時32分 日向灘の地震（深さ19km、M4.4；震央分布図地図範囲外）により、高知県宿毛市で震度1を観測しました。この地震では、宮崎県川南町・都農町・美郷町・宮崎市で震度2を観測したほか、熊本県、大分県、宮崎県で震度1を観測しました。

25日11時32分 徳島県南部の地震（深さ14km、M2.5）により、徳島県那賀町で震度1を観測しました。

25日13時46分 伊予灘の地震（深さ52km、M3.4）により、愛媛県八幡浜市・伊方町、山口県周防大島町、大分県国東市で震度1を観測しました。

26日20時05分 伊予灘の地震（深さ51km、M2.8）により、愛媛県伊方町で震度1を観測しました。

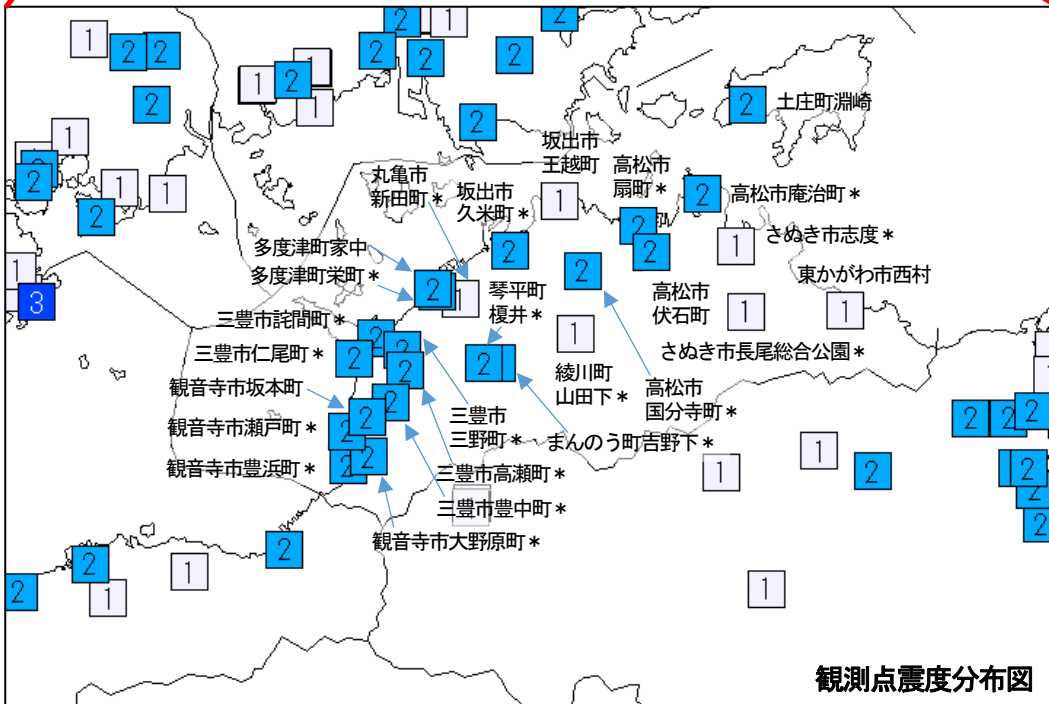
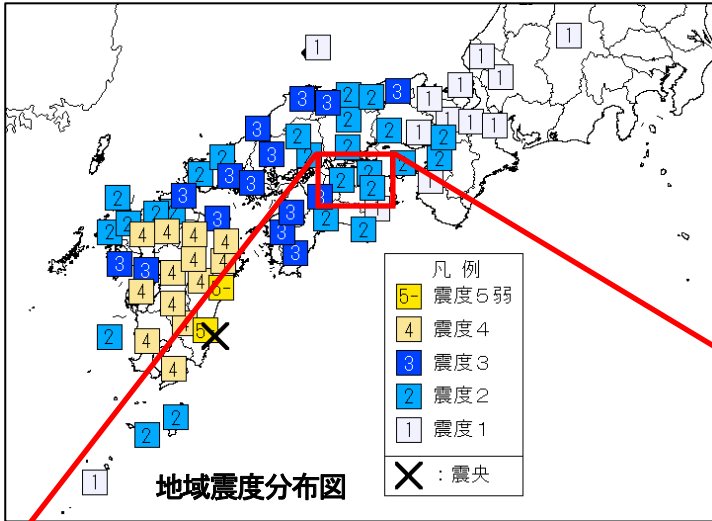
◎香川県の地震表（震度1以上）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2025年01月13日21時19分 香川県 震度 2： 震度 1：	日向灘	31° 49.7' N	131° 34.2' E	36km	M6.6
高松市伏石町, 高松市扇町*, 高松市庵治町*, 高松市国分寺町*, 土庄町湍崎 坂出市久米町*, 観音寺市坂本町, 観音寺市瀬戸町*, 観音寺市大野原町* 観音寺市豊浜町*, 琴平町榎井*, 多度津町家中, 多度津町栄町*, 三豊市豊中町* 三豊市仁尾町*, 三豊市高瀬町*, 三豊市三野町*, 三豊市詫間町* まんのう町吉野下* 東かがわ市西村, さぬき市長尾総合公園*, さぬき市志度*, 丸亀市新田町* 坂出市王越町, 綾川町山田下*					

*は気象庁以外の震度観測点

◎震度分布図

2025年01月13日21時19分 日向灘の地震



*は気象庁以外の震度観測点

【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果】

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催しています。

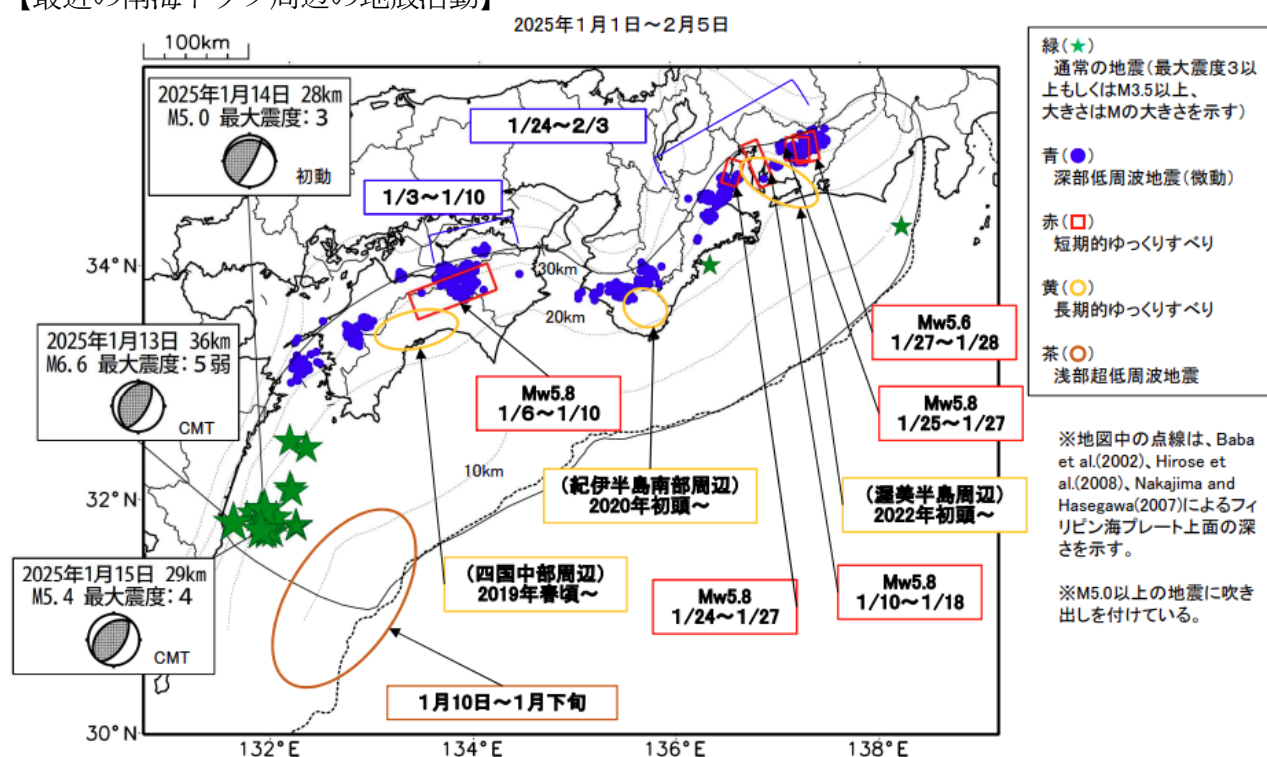
令和7年(2025年)2月7日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

【調査結果 (概要)】

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震(M8からM9クラス)は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が80%程度であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり.....【東海から紀伊半島北部】気象庁の解析結果を示す。
【四国東部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
長期的ゆっくりすべり.....国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。
浅部超低周波地震.....防災科学技術研究所の解析結果を元に活動期間及びおおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震(青●)、短期的ゆっくりすべり(赤□)、長期的ゆっくりすべり(黄○)について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2502/07a/nt20250207.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム>防災情報>南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

【地震一口メモ】

液状化現象について

地震に伴って、液状化現象が発生することがあります。1995 年の兵庫県南部地震、2000 年の鳥取県西部地震、2011 年の東北地方太平洋沖地震などでは地盤の液状化が発生し、建物やライフラインに被害が発生しました。また、2024 年の令和 6 年能登半島地震でも発生しました。

液状化現象は、地震のために地面が強く揺れると、地面が液体のようになる現象です。震度階級 5 弱以上の揺れで生じると言われ、水を多く含んだゆるい砂の地盤や埋立地で発生します。液状化現象が発生すると、堤防や岸壁、建物の土台が壊れたり、ビルや電柱が傾いたり、地中に埋設されていた土管やマンホールが浮き上がったりします。また、地面から泥水が噴出する、地盤沈下が発生する被害も起こります（図 1、図 2、図 3、図 4）。



図 1 液状化の被害写真（気象庁技術報告 第 119 号 第 4 章 資料集）

1995 年 1 月 17 日の兵庫県南部地震でケーソンが移動し、約 1.5m の陥没が発生
神戸市中央区北公園西側・ポートアイランド

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/1995_01_17_hyogonambu/tech/119_04_datum.pdf



図 2 液状化の被害写真（平成 12 年 10 月 地震・火山月報（防災編））

2000 年 10 月 6 日の鳥取県西部地震で液状化により漁港施設に被害が発生
鳥取県境港市境港漁港

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/monthly/200010/monthly200010.pdf>



図3 液状化の被害写真（平成30年9月 地震・火山月報（防災編））

2018年9月6日の北海道胆振東部地震で液状化により道路の陥没が発生

札幌市清田区里塚地区

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/monthly/201809/201809monthly.pdf>



図4 液状化の被害写真（災害時地震・津波報告 令和6年能登半島地震）

写真上 2024年1月1日の能登半島地震で液状化によりマンホールの隆起が発生

石川県志賀町末吉千古

写真下 2024年1月1日の能登半島地震で液状化により地盤の隆起が発生

新潟市西区寺尾東

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/saigaiji/saigaiji_2024/saigaiji_202403.pdf

自治体のハザードマップを参照すると、地域の液状化現象危険度予測を見ることができます。図5は多度津町の例です。多度津町では海岸沿いや、町の東半分の領域を中心に、液状化危険度がかなり高い「危険度A」や液状化危険度が高いことを示す「危険度B」の領域が広がっています。

自治体のハザードマップを活用して、ご自身の地域の液状化のリスクについて調べてみてはいかがでしょうか。

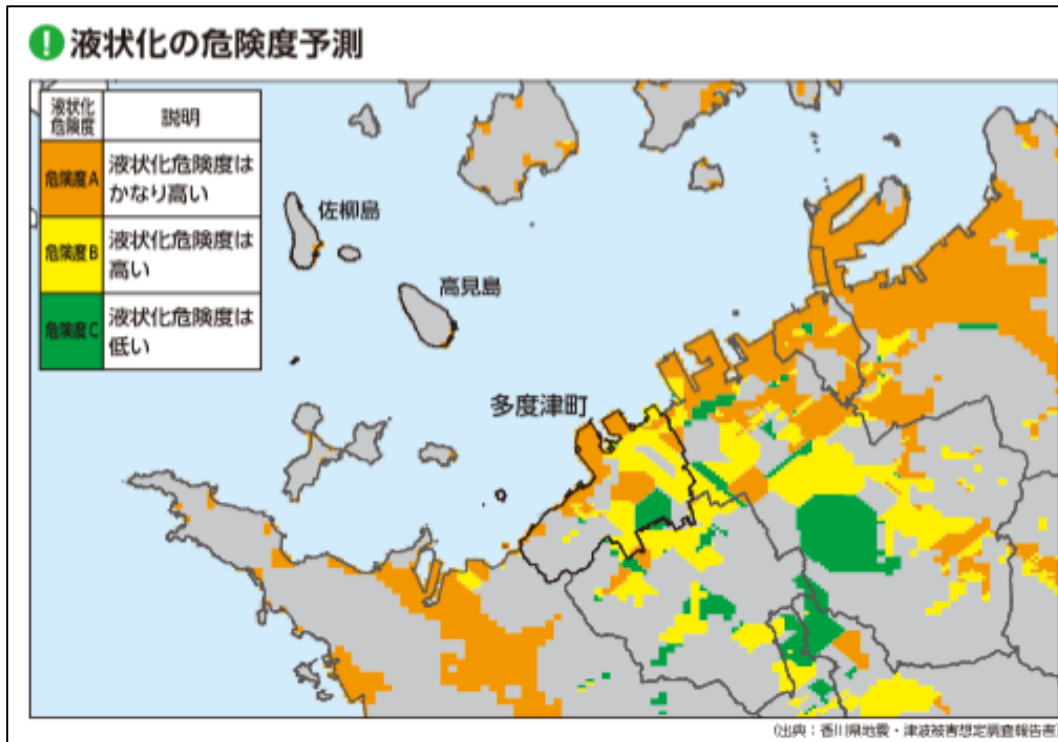


図5 液状化の危険度予測の例（多度津町総合ハザードマップ〔地震・津波・ため池〕）

https://www.town.tadotsu.kagawa.jp/material/files/group/3/nihongo_jisin.pdf

（参考）香川県 HP で、県内全体の図（香川県地震・津波被害想定調査報告書 p21）が公表されています。

URL： https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/3821/report_all_ver2.pdf